



市長望

◆ 提出した要望内容 ◆

- 新規就農者への支援に関すること
- 公道周辺の管理徹底に関すること
- 鳥獣被害対策に関すること

農業施策に関する要望書を市長へ提出しました

6月28日、渡部会長はじめ四役が皆川市長を訪問し、農業委員会定例総会で決議された農業施策に関する要望書を提出しました。

農業委員会では、地域農業を守るため、農業者の皆さんが意欲と希望を持って農業に取り組めるよう、今後も市のほか、国や県などの関係機関へ現場の生の声を伝えていきます。

農業者年金の加入推進などについて学んできました

7月18～19日、農業者年金加入推進等視察研修が行われ、委員28人が参加しました。

初日に訪れた岩手県一関市は6割が山林で中山間の農地が多く、農業産出額では鶴岡市に次ぐ東北4位、その内67%が畜産で占められています。農業者年金の新規加入者数は、平成29年以前は一桁台でしたが、班体制を組み、まず委員



年金視察

◆ 視察先 ◆

- * 岩手県一関市
- * 宮城県南三陸町

が制度を良く理解し、戸別訪問を中心とした活動が実を結び、平成30年には15人に増えたとのことでした。特に、具体的な推進体験談を聞くことができ大変参考になりました。



2日目の南三陸町農業委員会では、東日本大震災の復興状況と委員会活動について説明を受け、その後、西戸川工

区圃場整備、在郷工区圃場整備の現場を視察しました。この地域の38%の耕地が被災し、山土(赤土)で盛土された場所では土が痩せているため土作りからのスタートで、不安や耕作意欲を衰退させるなどの問題が発生

しているとのことでした。また、高台にある戸倉公民館(旧中学校)では、津波到達点の記録があり、改めて津波の恐ろしさを痛感させられました。現地に向いて初めてわかることが多く、大変意義ある研修でした。

(太田裕徳広報編集委員長)

